

## 卒業・修了にあたって

残る実験を行なったら、各欄にチェックして、卒論／修論・実験ノート・スペクトルのファイル・サンプル・CD-ROM と共に提出

- 卒論発表会の後に行なった実験を含めた(別紙記述でも良い)卒論／修論の最終版を作成する。両面刷りとし、製本はしない。
- 実験ノートには、全ての実験に実験番号が振られていることを確認する。全てのスペクトルとそのファイルに実験番号が振られ、どの段階のサンプルについての測定かがノートに明記されていることを確認する。印刷したスペクトルは実験番号順に並べてバインダーにファイルする(クリヤファイルは認めない)。
- 合成したサンプルは、サンプル管に入れ、ラベルを貼る。まとめて、適当な大きさの箱に入れる。
- 購入した試薬は原則として試薬棚に出すが、周りの学生で必要としている人がいるならば、その人に託す。
- 全ての器具を洗い、共通の器具は共通の場所に戻す。
- 研究に関連して作製した全てのデータを一人一人CD-ROMに焼く。CD-ROMに含むデータは以下のようなものである。

卒論／修論(最終版)、学会発表原稿、研究報告、スペクトルデータ(ファイル名がスペクトル番号と一致していること)、ダウンロードした論文、Current Journal、その他私生活に関係しないデータ全て
- 自分の使用していたコンピュータの中の個人的なデータは全て消去する。
- 借りている本と雑誌は全て返す。実験室の鍵を返却。共通のものは共通の場所へ。

氏名 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_